

令和6年度子ども部会年間内容・総括

- <子ども部会の目的>
- 障がい児にまつわる地域課題の抽出及び取り組み

● 新座市内障がい児通所事業所の質の向上

年間テーマ：ネットワークづくり

日付	部門	時間	場所	内容	参加人数	目標	成果
4月24日	全体	10:00-12:00	全員協議会室	今年度のテーマ、報酬改定	32名	・今年度のテーマを共有し、年間通して目標を意識しながら参加する。 ・報酬改定の内容を理解し、各事業所の運営、療育内容を見直し、質の向上を目指す。 ・毎回事業所での出来事を共有する時間を設けて、地域課題の抽出と地域資源の発掘を行う。	テーマを共有し、年間計画の内容確認をし子ども部会の意義を確認できた。 協議会においての守秘義務についての共通理解が出来た。 就学相談の流れや、市内の通級、支援級、支援学校の特徴などを知ることが出来た。 報酬改定の内容の理解を深めることが出来た。
5月8日	保育所等 訪問支援	15:00-17:00	204	実態調査・調整方法・フィードバック方法・時間等／リーフレット案出し	10名	・現状を把握し、市内事業所で共有事項を確認した上で、訪問先との調整をしていき、質の向上と有意義な訪問支援を行う。 ・リーフレットを作成し、利用者や訪問先に正確に制度理解をしてもらう。	市内訪問支援の実態の把握が出来た。 リーフレットを作成過程で支援の流れや要点を確認し、共有することが出来た。
6月12日	全体	10:00-12:00	301・302	事例検討、個別支援計画（5領域）	41名	・事業所での困難事例を検討していくことで、地域で支援していく。 ・地域課題を抽出し、必要に応じて全体会に問題提起していく。 ・5領域とのつながりを明確化した個別支援計画の作成方法と療育の実施方法を検討し、質の向上につなげる。	個別支援計画についての理解を深め、実際の支援に活かしていく事の大切さを確認することが出来た。 事例検討を通して、支援の内容や連携について考えを深めることが出来た。
7月10日	児発	15:00-17:00	303・304	児童発達支援センターについて知る（見学）	21名	・児童発達支援センターの役割とその関わり方を学び、連携の強化を図る。	新座市の児童発達支援センターについての機能を理解することが出来た。実際の支援に活かせるアイデアを学ぶことが出来た。
8月21日	保育所等 訪問支援	15:00-17:00	会議室3 (第二庁舎5階)	事例検討／リーフレット完成		・事業所での困難事例を検討していくことで、地域全体で支援していく。 ・リーフレットを作成し、利用者や訪問先に正確に制度理解をしてもらう。	訪問支援の状況把握と連携の実例の共有をすることが出来た。 リーフレットが完成し、その使い道も確認できた。
9月11日	全体	10:00-12:00	301・302	担当者会議について (高校卒業等の者への移行、多職種連携)		・児から者への移行時への支援や担当者会議の在り方を見直し、長期的目線での療育を目指す。 ・多職種連携をするために、知識を得て、療育の幅を広げる。	学校の先生より、進路指導についての流れと内容、現在の状況を伝えていただき、質疑応答などでより理解を深めることが出来た。学生が卒業後進路先と行う「移行支援会議」に放課後等デイサービスの職員も参加したい意向を学校に伝え、理解してもらった。
10月9日	児発	15:00-17:00	301・302	支援級や通級に関する学習 (普通級への移行児童や未就学時にやっておくと良いこと等)		・就学後の環境を把握した上で、長期的目線での療育を目指す。 ・保護者への支援の充実を図る。	就学相談について理解し、児童発達支援事業所で行う就学前に関する相談や支援について深めることが出来た。
11月13日	全体	10:00-12:00	301	B C P、防災	35名	・災害時に各事業所が迅速かつ的確に行動できるようにする。	新座の地域性を理解、共有できた。 想定外の災害（排水による浸水）や以前問題だったが改善された問題など、最新の情報を共有できた。 活用できるBCPの内容にすることを共通理解した。
12月11日	保育所等 訪問支援	15:00-17:00	201	事例検討	9名	・事業所での困難事例を検討していくことで、地域全体で支援していく。 ・地域課題を抽出し、その課題に対して取り組む内容を検討していく。	市内の訪問支援の状況の把握ができた。 それぞれの立場を踏まえた円滑な連携の重要性を確認できた。 教育現場の変化による今後の課題について共通理解した。
1月15日	全体	10:00-12:00	301・302	分科会 ①就学に向けて大切にしたい支援内容と連携体制 ②新座市の地域資源と支援内容について ③事業所運営の継続のために大切にしていること（運営者・経営者対象）	35名	・児から者への移行時への支援を見直し、長期的目線での療育を目指す。 ・多職種連携をするために、知識を得て、療育の幅を広げる。	①就学前に就学に向けてつけておきたい力、連携について確認できた。 ②各事業所の取り組みがわかり、事業所間の関わりが深まった。 ③人材不足の為、運営や職員の専門性が高まらない 新規参入も多い中閉所する事業所もあり、利用者に対する継続した療育を地域で保障していきたい。
2月12日	児発	15:00-17:00	未定	総括・担当者会議、多職種連携	17名	・担当者会議の在り方を見直し、療育への活かし方を検討する。 ・多職種連携をするために、知識を得て、療育の幅を広げる。 ・年間テーマに対する評価をし、次年度の目標を検討する。	各事業所の多職種連携の事例を通して、良い連携とは、それぞれの立場を理解した上で成り立つことを理解した。 新座市の5歳児健診についての情報共有ができた。 不登校児童についての実状と支援について確認し今後の課題であることを理解した。
3月12日	全体	10:00-12:00	未定	まとめ		・年間テーマに対する評価をし、次年度の目標を検討する。	連携を意識し様々なテーマに取り組んだ結果、連携の広がりは見られたのでさらに深めていきたい。

【令和6年度の子ども部会で見えた課題、来年度の活動について】

・保育所等訪問支援の制度の周知と内容の充実（リーフレットの活用・事例検討会） ・児童発達支援（就学前）の多職種連携（5歳児健診も含む）と保護者支援 ・個別支援計画について（内容、保護者との共有の方法等） ・多職種（保護者・相談支援・学校・医療・発達支援センター・他事業所等）との連携深化 ・事業所の閉鎖などによる利用者に対して継続した療育の保証 ・新座市の地域性を考えた防災及び業務継続計画の作成 ・不登校児支援について・虐待について・支援者の質の向上のための学習